

### 第9回「日本語大賞」応募要領

標記の件について、下記の通りご案内いたします。

多くの皆さんの応募を期待しています。(自由参加です。)

記

- 1 主催 特定非営利活動法人日本語検定委員会
- 2 協賛 読売新聞社/東京書籍/時事通信社/日本教育新聞社等
- 3 後援 文部科学省/日本商工会議所/経団連事業サービス/海外市場教育財団等
- 4 テーマ 「ちょっと気になる日本語」
- 5 応募規定
  - ① 部門・字数
    - 小学校低・中学年 400字～1,000字
    - 小学校高学年 600字～1,200字
    - 中学生 1,200字～2,000字
    - 高校生 1,200字～2,000字
    - 一般の部 2,000字～3,200字
  - ② 書式
    - ワープロ・パソコンの場合：A4判横向きに、縦書き、1行40字詰め。
    - 原稿用紙の場合：400字詰原稿用紙を使用すること。
    - 個人応募：1枚目の1行目にタイトル、2行目に名前(ふりがな)、3行目から本文を書き出すこと。
    - 団体応募：1枚目の1行目にタイトル、2行目に団体名・学年など、3行目に名前(ふりがな)、4行目から本文を書き出すこと。(例：NY補習授業校 初等部3年 大塚 安彦(おおつか やすひこ))
- 6 応募方法 **(※ 応募票はホームページからダウンロードしてください。)**
  - ① 個人応募の場合：個人応募票に必要事項をご記入の上、作品と同封して送付すること。
  - ② 団体応募の場合：ご担当者を窓口として、作品を一括して送付すること。
- 7 注意事項
  - ① 作品はワープロ・パソコン、手書きのいずれも可とするが、黒または青の文字とし、鉛筆書きは不可とする。(ただし、小・中・高校生は鉛筆書きでも可とする。)
  - ② 応募作品は未発表で、第三者の著作権を侵害していない自作オリジナル作品であること。また、一人1点に限る。
  - ③ 応募作品は一切返却しない。また、入選作品以外については審査結果などの連絡はしない。
  - ④ 入選作品の著作権は、日本語検定委員会に帰属する。
- 8 表彰
  - ① 一般の部：文部科学大臣賞1点：賞状、盾、副賞20万円/優秀賞2点：賞状、副賞10万円/佳作5点：賞状、副賞1万円
  - ② 高校生の部：文部科学大臣賞1点：賞状、盾、副賞10万円/優秀賞2点：賞状、副賞5万円/佳作5点：賞状、副賞(図書カード5,000円分)
  - ③ 中学生の部：文部科学大臣賞1点：賞状、盾、副賞5万円/優秀賞3点：賞状、副賞3万円/佳作5点：賞状、副賞(図書カード3,000円分)
  - ④ 小学生の部：文部科学大臣賞1点：賞状、盾、副賞3万円/優秀賞3点：賞状、副賞1万円/佳作5点：賞状、副賞(図書カード1,000円分)
- 9 審査基準
  - ① 応募テーマに沿った作品であるか。 **※ ホームページに以前の優秀作品が掲載されていますので、**
  - ② 文章の構成が良くできているか。 **参考にしてください。**
  - ③ 創造性・独創性があるか。
  - ④ 読み手の心に響くものであるか。
  - ⑤ 誤字・脱字がなく、その他の表現も的確であるか。
- 10 審査発表  
2018年2月上旬に日本語検定ホームページで発表。
- 11 作品提出・〆切
  - (1) 事務所で一括して日本に送付しますので、担任の先生に提出してください。
  - (2) 平成29年8月19日(土) 〆切